



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月13日

上場会社名 トレーディア株式会社 上場取引所 東
コード番号 9365 URL
代表者 （役職名） 代表取締役社長執行役員 （氏名） 吉田 大介
問合せ先責任者 （役職名） 執行役員財務本部長 （氏名） 茨木 信弘 TEL 078-391-7170
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	4,067	6.8	58	79.7	272	146.2	203	169.3
2025年3月期第1四半期	3,807	△0.4	32	35.3	110	△18.2	75	△19.5

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 282百万円（65.7%） 2025年3月期第1四半期 170百万円（△40.0%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	138.73	—
2025年3月期第1四半期	51.51	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	11,198	4,859	43.4
2025年3月期	10,792	4,650	43.1

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 4,859百万円 2025年3月期 4,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	50.00	50.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,800	0.9	320	26.3	400	0.4	280	4.6	190.97

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	1,470,000株	2025年3月期	1,470,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	3,818株	2025年3月期	3,818株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	1,466,182株	2025年3月期1Q	1,466,203株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要は堅調を維持する一方で、米国の通商政策による事業への悪影響、中東情勢の悪化等の先行き不安により、景況感が冷え込み、力強さを欠いて推移しました。

当社グループを取り巻く環境としては、景況感の冷え込みの影響により、輸出貨物の取扱量は前年を下回って推移しました。輸入関連では、保管料収入は堅調でしたが、長引く物価高により、取扱量は伸び悩みました。一方、国際物流網を担うコンテナ船による海上輸送においては、日本向け貨物の運賃市況が改善し、取扱量も前年を上回るなど明るい兆しが見られました。

当社グループはこのような状況下におきまして、顧客ニーズに柔軟に対応した積極的な営業展開に努めてまいりました結果、総取扱量は前年同期比0.3%減少しましたが、営業収入は前年同期比6.8%増の40億67百万円余（対前年同期2億60百万円余増）となりました。損益面につきましては、営業総利益は前年同期比21.1%増の2億70百万円余（対前年同期47百万円余増）となりました。営業損益は、一般管理費は増加したものの、前年同期比79.7%増の58百万円余の利益（対前年同期26百万円余増）、経常損益は、受取利息及び配当金と持分法による投資利益が大きく増加したことにより、前年同期比146.2%増の2億72百万円余の利益（対前年同期1億61百万円余増）となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比169.3%増の2億3百万円余（対前年同期1億27百万円余増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①輸出部門

輸出部門におきましては、雑貨、機械製品、食料品の取扱いの減少が響き、取扱量は前年同期比で9.2%減となりました。また、自社倉庫での取扱量や取扱件数も前年同期比で減少しました。輸出部門の営業収入は前年同期比2.9%減の6億70百万円余（対前年同期20百万円余減）としたものの、コスト減少、適正料金の収受の効果により、セグメント利益8百万円余（前年同期はセグメント損失2百万円余）の計上となりました。

②輸入部門

輸入部門におきましては、雑貨の減少はありましたが、機械製品が増加し、取扱量は前年とほぼ同程度でした。取扱件数は前年より微増でしたが、自社施設での保管料収入が大幅に増加したことから収益性が改善し、輸入部門の営業収入は前年同期比7.1%増の13億12百万円余（対前年同期87百万円余増）、セグメント利益3百万円余（前年同期はセグメント損失21百万円余）の計上となりました。

③国際部門

国際部門におきましては、輸出では取扱量の増加、輸入では日本向けの運賃市況が改善し、営業収入が増加しました。輸出におきましては、アジア発北米向け三国間貿易は低調でしたが、日本発インド、東南アジア向けの機械製品、建材、紙類が堅調に推移し、取扱量は前年同期比22.5%増、営業収入は前年同期比6.8%増となりました。輸入におきましては、雑貨が減少しましたが、猛暑の影響により夏物家電の取扱量が増加し、医療製品も堅調に推移した結果、取扱量は前年同期比で微増とし、運賃市況の改善により営業収入は前年同期比10.5%増となりました。結果、部門全体では、営業収入は前年同期比9.7%増の20億38百万円余（対前年同期1億80百万円余増）としたものの、コスト増加によりセグメント利益は対前年同期比37.8%減の26百万円余（対前年同期16百万円余減）の計上となりました。

④倉庫部門

倉庫部門におきましては、営業収入は前年同様の13百万円余となりました。セグメント利益は前年同様の12百万円余の計上となりました。

⑤その他

船内荷役等の営業収入は前年同期比99.3%増の39百万円余となり、セグメント利益は前年同期比373.8%増の7百万円余の計上となりました。

（注）上記のセグメントの営業収入には、セグメント間の内部営業収入6百万円余を含んでおります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億6百万円余増加し、111億98百万円余となりました。流動資産は1億29百万円余減の37億92百万円余、固定資産は5億35百万円余増の74億5百万円余であります。流動資産減少の主な要因は、現金及び預金は増加しましたが、立替金の減少等によるものであります。固定資産増加の主な要因は、建設仮勘定と投資有価証券の増加等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2億49百万円余増加し、42億98百万円余となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ52百万円余減少し、20億40百万円余となりました。流動負債増加の主な要因は、短期借入金、賞与引当金の増加等によるものであります。固定負債減少の主な要因は、繰延税金負債は増加しましたが、長期借入金の減少等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、2億8百万円余増加し、48億59百万円余となりました。これは、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月13日公表の通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,125,965	1,232,940
受取手形、売掛金及び契約資産	1,630,792	1,559,110
立替金	1,009,619	872,927
その他	156,957	127,518
貸倒引当金	△1,895	△250
流動資産合計	3,921,439	3,792,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,236,868	1,226,717
機械装置及び運搬具（純額）	43,703	47,416
工具、器具及び備品（純額）	5,933	5,442
土地	1,781,656	1,781,656
リース資産（純額）	138,085	136,456
建設仮勘定	—	421,440
有形固定資産合計	3,206,247	3,619,129
無形固定資産		
借地権	34,560	34,560
その他	43,082	39,687
無形固定資産合計	77,642	74,247
投資その他の資産		
投資有価証券	2,177,823	2,329,554
差入保証金	774,814	787,735
退職給付に係る資産	21,519	36,092
その他	616,842	563,321
貸倒引当金	△4,265	△4,182
投資その他の資産合計	3,586,734	3,712,522
固定資産合計	6,870,624	7,405,899
資産合計	10,792,064	11,198,147

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,205,376	1,156,788
短期借入金	2,166,145	2,366,145
リース債務	51,579	49,555
未払法人税等	92,676	48,326
賞与引当金	235,152	344,880
その他	298,271	332,851
流動負債合計	4,049,201	4,298,546
固定負債		
長期借入金	1,495,825	1,454,288
リース債務	127,202	125,471
長期未払金	2,190	4,619
繰延税金負債	373,837	414,156
役員退職慰労引当金	80,434	28,894
その他	12,650	12,650
固定負債合計	2,092,140	2,040,080
負債合計	6,141,341	6,338,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,000	735,000
資本剰余金	169,380	169,380
利益剰余金	2,900,794	3,030,896
自己株式	△6,970	△6,970
株主資本合計	3,798,204	3,928,306
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	905,598	989,079
為替換算調整勘定	40,227	31,244
退職給付に係る調整累計額	△93,307	△89,110
その他の包括利益累計額合計	852,517	931,212
純資産合計	4,650,722	4,859,519
負債純資産合計	10,792,064	11,198,147

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業収入	3,807,503	4,067,637
営業費用	3,583,874	3,796,846
営業総利益	223,629	270,790
一般管理費	190,822	211,845
営業利益	32,807	58,945
営業外収益		
受取利息及び配当金	79,617	176,511
持分法による投資利益	2,320	29,136
その他	19,535	26,809
営業外収益合計	101,474	232,457
営業外費用		
支払利息	14,587	19,369
その他	9,210	—
営業外費用合計	23,797	19,369
経常利益	110,484	272,033
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
リース解約損	3,552	2,962
特別損失合計	3,552	2,962
税金等調整前四半期純利益	106,932	269,070
法人税等	31,407	65,659
四半期純利益	75,524	203,411
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	75,524	203,411

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	75,524	203,411
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	87,260	83,481
退職給付に係る調整額	456	4,196
持分法適用会社に対する持分相当額	6,972	△8,983
その他の包括利益合計	94,689	78,694
四半期包括利益	170,214	282,105
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	170,214	282,105
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用の計算

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税金等調整前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	輸出	輸入	国際	倉庫	計				
営業収入									
外部顧客への営業収入	691,311	1,225,735	1,858,011	13,500	3,788,558	18,945	3,807,503	—	3,807,503
セグメント間の内部営業収入又は振替高	—	—	—	—	—	660	660	△660	—
計	691,311	1,225,735	1,858,011	13,500	3,788,558	19,605	3,808,163	△660	3,807,503
セグメント利益又は損失(△)	△2,685	△21,862	42,852	12,990	31,294	1,513	32,807	—	32,807

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、その他の事業を含んでおります。

2. 調整額△660千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	輸出	輸入	国際	倉庫	計				
営業収入									
外部顧客への営業収入	670,984	1,312,743	2,038,233	13,500	4,035,461	32,176	4,067,637	—	4,067,637
セグメント間の内部営業収入又は振替高	—	—	—	—	—	6,900	6,900	△6,900	—
計	670,984	1,312,743	2,038,233	13,500	4,035,461	39,076	4,074,537	△6,900	4,067,637
セグメント利益	8,316	3,835	26,672	12,949	51,774	7,170	58,945	—	58,945

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、その他の事業を含んでおります。

2. 調整額△6,900千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	32,241千円	43,629千円